

授業科目(ナンバリング)	キャンプ実習指導援助 (CC312)			担当教員	熊谷 賢哉		
展開方法	講義・実習	単位数	2 単位	開講年次・時期	3 年・集中	必修・選択	選択
授業のねらい							アクティブラーニングの類型
生涯スポーツや学校教育の場で実施されるキャンプでの活動（アクティビティ）に関する基礎的な知識、技術、指導方法、考え方を習得し、キャンプインストラクターの資格取得を目指す。							②④
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	授業で行う活動のルールを理解し、必要な指導技術を習得することができる。				技能テスト 知識の理解度確認(試験)	30%	
情報収集、分析力							
コミュニケーション力	集団生活を通して、豊かな人間関係、社会性を築くことができる。				授業態度・授業への貢献度	20%	
協働・課題解決力	キャンプ実習の支援にあたるための知識を理解し、指導方法や運営について具体的に立案することができる。 授業で行う活動のルールを理解し、必要な指導技術を習得することができる。				技術習得度・ルールの理解(試験)	50%	
多様性理解力							
出 席					受験要件		
合 計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<p>野外教育の安全管理法の理解度および必要な技術の習得度を評価基準とする（評価基準 80%）。また、積極的に支援にあたり、集団生活を通して豊かな人間関係や社会性を築けたかについても（評価基準 20%）、授業態度・授業への貢献度を通して評価基準とする。また、レポート、小テストなどのフィードバックを授業で行う。</p>							
授業の概要							
<ul style="list-style-type: none"> 前期授業期間に 3 コマ、学外実習中に 4 コマの講義を行い、キャンプに関する理論的知識を学ぶ。 学外実習は、8 月～9 月の間に国立大洲青年の家（愛媛県）にて 4 泊 5 日でキャンプを行う。学外実習では、リバーカヌー、クライミング（ボルダリング）、クラフトワーク、野外炊飯、キャンプファイアー等のプログラムを行う予定である。 学外実習終了後に 1 コマの講義を行い、実習を通して学んだ知識や技能、指導方法について確認した後、資格認定のための最終筆記試験を行う。 学生負担の諸経費の概算は、¥28,000（交通費、宿泊費、食費、保険料等）で、希望する者は、社団法人日本キャンプ協会キャンプインストラクターに登録することが可能である。なお、キャンプインストラクターの登録に必要な金額は、15,000 円である。 原則として、スポーツ実習 C（キャンプ実習）を履修済みであることを履修の条件とする。 この授業の標準的な 1 コマあたりの授業外学修時間は、45 分とする。 							
教科書・参考書							
<p>教科書：使用しない。</p> <p>参考書：キャンプ指導者入門（日本キャンプ協会, 2008）</p> <p>指定図書：キャンプ指導者入門（日本キャンプ協会, 2008）</p>							

授業外における学修及び学生に期待すること

キャンプ実習で援助を行うにあたり、積極的に授業に参加し、受講生との交流を通して指導方法を学んでほしい。また、授業で行った内容を一つでも修得し、今後の生活に役立ててほしい。

回	テーマ	授業の内容	予習・復習
1	ガイダンス・理論①	授業の内容・展開方法、評価の方法等に関する説明、キャンプの目的と意義、キャンプの組織と種類	予習：シラバスに目を通しておく。
2	理論②	キャンプのルールとマナー	復習：キャンプ実習のルールとマナーを確認する。
3	理論③	キャンプにおける安全管理の考え方、事故事例に学ぶ	復習：キャンプ実習で行う安全管理の方法を確認する。
4	学外実習① (1日目午後)	キャンプの安全、安全管理の実際、キャンプの生活技術(野外炊飯)	予習：調理の方法、火のおこし方について調べておく。
5	学外実習・理論④ (1日目夜)	人間と自然の理解、人間の理解、自然の理解①	復習：キャンプ実習の実施施設について確認する。
6	学外実習② (2日目午前)	様々なアクティビティ:選択アクティビティ	予習:キャンプで行うアクティビティについて内容や指導方法を確認する。
7	学外実習③ (2日目午後)	キャンプの生活技術:野外炊飯①	予習:調理の方法、火のおこし方について調べておく。
8	学外実習・理論⑤ (2日目夜)	人間と自然の理解、人間の理解、自然の理解①	復習:キャンプ実習の実施施設について確認する。
9	学外実習④ (3日目午前・午後)	様々なアクティビティ:カヌー①(パドル操作)	予習:ツーリングのコースおよびパドル等のカヤックに必要な基礎技術について、確認する。
10	学外実習・理論⑥⑦ (3日目夜)	キャンプインストラクターの役割、キャンパーの観察と記録、キャンプにおけるカウンセリング、指導者のためのコミュニケーションスキル	復習:キャンプインストラクターの役割について理解する。実習期間中の学生の支援記録の方法について確認する。
11			
12	学外実習⑤ (4日目午前・午後)	様々なアクティビティ:カヌー②(ロングツーリング)	予習:ツーリングのコースについて、確認する。
13	学外実習⑥ (4日目夜)	キャンプファイアー	予習:キャンプファイアーの運営方法について確認する。
14	学外実習⑦ (5日目午前)	キャンプの生活技術:野外炊飯②	予習:調理の方法、火のおこし方について調べておく。
15	事後指導、理論⑧	実習を通して学んだことに関する日誌作成、試験	復習:実習を通して学んだ知識や修得した技能を確認する。
16	試験	筆記試験	試験に向け、これまでの授業内容を振り返る。